

協議会によりもたらされたもの①

- ◆ 自治医大以外の卒業医師参入
高知大や愛媛大卒業医師(累計6名)や、自治医大
地域医療後期研修プログラムからの受け入れ(2名)
- ◆ 研修体制充実の確保
へき地医療機関すなわち市町村職員の身分を持った
まま県外でも後期研修を実施できるようになった
- ◆ 諸診医会自らの問題としてへき地医療支援の具体化
広域救急ヘリ搬送システムの活用など

協議会によりもたらされたもの②

- ◆ へき地医療情報ネットワークの整備
現場からの提案により、全ての診療所を光ファイバー網で結び、へき地勤務医師の医療支援と情報共有を図り、次世代の人材育成にもつなげている
- ◆ 「地域保健・医療」研修
多くの研修医に地域医療の現場を知ってもらえるよう、へき地の医療機関を組み込んだ研修を立案
県内の管理型研修病院が(6施設)が採用、今年度からは、県外大学病院(4施設)の研修医も参加

「地域保健・医療」研修のシステム化

● 管理型臨床研修病院 6か所

2009.6月現在

